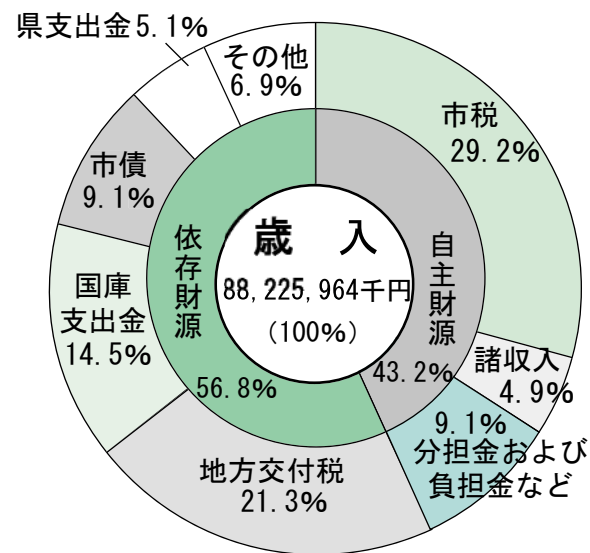


平成17年度 当初予算

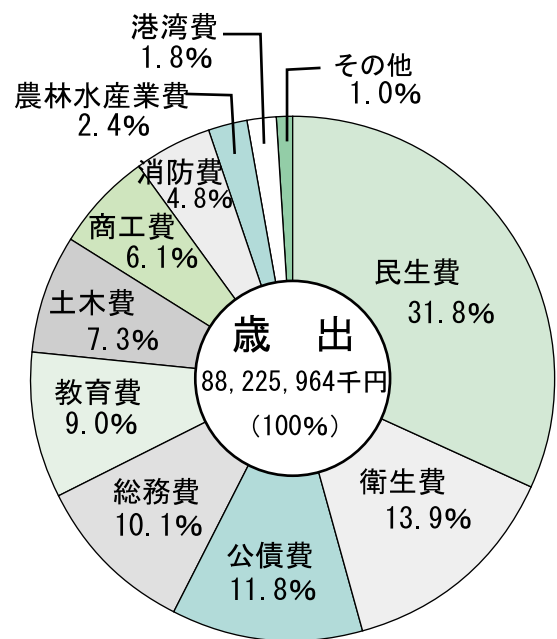
一般会計は 882億2,596万円

3月定例議会で上程された17年度当初予算は、総額2,071億5,312万円です。市の仕事の中心となる一般会計が882億2,596万円、国民健康保険などの特別会計が837億9,663万円、水道や交通などの企業会計が351億3,053万円です。

■歳入（一般会計）



■歳出（一般会計の目的別内訳）



グラフ中の計数は、それぞれ四捨五入しているの
で、計とは一致しない場合があります。

<主な収入> ()は前年度比

- 市税 257億7,000万円 (6.4%減)
市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
- 諸収入 43億1,194万円 (2%増)
- 分担金および負担金など 80億166万円 (32.3%増)
分担金および負担金、使用料および手数料など
- 地方交付税 187億5,000万円 (21%増)
標準的な財政運営に必要とされる経費(人口、面積、道路の延長などを基準に算出)に基づき国から交付
- 国庫支出金 127億6,829万円 (4.7%増)
生活保護、学校建設などに対する補助
- 市債 80億5,450万円 (30.7%減)
市が借り入れるお金
- 県支出金 44億5,758万円 (23.7%増)
国民健康保険基盤安定や保育所費などに対する補助

<お金の使いみち> ()は前年度比

- 民生費 280億2,454万円 (11.5%増)
高齢者、障害者、保育園児、生活保護者扶助など
- 衛生費 122億6,041万円 (0.5%増)
病気予防、環境保全、ごみ処理など
- 公債費 104億2,528万円 (22.2%減)
市の借入金である市債の償還など
- 総務費 89億5,028万円 (22.5%増)
戸籍・住民票、地域振興、財産管理、合併推進など
- 教育費 79億6,132万円 (6.6%増)
学校教育、生涯学習、スポーツの振興など
- 土木費 64億568万円 (7.7%増)
道路や公園などの整備
- 商工費 54億2,269万円 (0.1%減)
地域産業の育成、観光客の誘致など
- 消防費 41億9,340万円 (5.3%増)
- 農林水産業費 21億763万円 (9.3%増)
農業、畜産、林業、漁業の振興
- 港湾費 16億2,365万円 (23.9%減)

本市の台所事情は？

市に入る収入のことを、「歳入」と呼んでいます。歳入の主なものは、市民の皆さんからの税金や国からの地方交付税などです。景気低迷の影響で、市税などの歳入も、実質的には年々減少しています。歳入が減れば、使えるお金、つまり歳出も減らさなければなりません。新しい事業も始めなければならず、市民サービスも低下させてはなりません。特に本年度は、吉井・世知原町との合併で、財政規模は大きくなりましたが、三位一体改革などの影響もあり、実質的な歳出予算の合計(使えるお金)は縮小しました。前年度の1市2町の当初予算の合計と新佐世保市の当初予算を比べると、0.2%減少しています。

やり繰りの方法

平成17年度予算も、「財源配分型予算編成方式」を採用しました。この方式は、各部局があらかじめ配分された一般財源(注)の範囲内で事業を組み立てるといふものです。配分された予算枠は、前年度の95%です。この際、行政評価などによる事務事業の見直し、IT(情報技術)を活用した事務の効率化などを行いました。

主な事業

- 西海国立公園50周年記念事業(5億2,700万円)
- 漁業体験施設の整備などエコツーリズム推進事業、50周年記念イベント、アクセス道路整備、映画「釣りバカ日誌」支援など
- 西部クリーンセンターに併設する焼却灰溶融施設建設(4億2,272万円)
- 市民斎場「西部芳世苑」の建替え(9,612万円)
- 放課後児童健全育成事業(6,901万円)
- 児童クラブの対象を小学校6年生まで拡大
- 小中学校の少人数指導のための非常勤講師増員(6,777万円)
- 児童殺害事件を受けての取り組み(3,168万円)
- 「心の教育」の充実、教育センター事業の拡充など
- メディカルコントロール体制整備(776万円)
- 救急隊員が行う応急処置などの質の向上、除細動器の救急車全車配備
- させば市民活動交流プラザ運営事業(1,092万円)
- 文化財保護事業(1,211万円)
- 世知原地区の石橋群整備など
- 体育施設整備事業(5,167万円)
- 体育文化館、吉井・世知原両地区の体育施設など

この事務事業の見直しなどにより、歳出を約13億円削減し、また、合併したことにより約5億円の効果が生じたことなどから、少子高齢化に伴う保健福祉分野の自然増や、観光を中心とした地域の再生、教育改革などの重点課題に取り組むことができました。しかしながら、財源不足は避けられず、不足分は財政調整基金などの基金を取り崩し、充当します。実質的な不足分は、約15億円と見込まれます。
注...市税、地方交付税など使い方が特定されないで、どのような経費にも使用することができる財源

市民一人当たりで表示すると
平成17年度一般会計予算(使うお金) 約35万円
平成17年度末市債残高(借金) 約43万円
平成17年度末基金残高(預金) 約2.3万円
3月1日現在の1市2町の人口で割り
ました。



会計別予算の内容(単位:千円,%)

会計別	平成17年度	
	当初予算額	前年度比
一般会計	88,225,964	2.2
特別会計		
住宅事業	2,100,809	12.6
国民健康保険事業	23,406,570	7.3
競輪事業	12,535,994	36.0
卸売市場事業	2,007,011	8.4
災害共済事業	48,464	11.2
土地区画整理事業	126,639	40.4
老人保健医療事業	26,994,613	2.4
地域交通体系整備事業	105,301	67.5
土地取得事業	150,061	66.4
介護保険事業	16,321,164	21.2
小計	83,796,626	2.3
企業会計		
水道事業	11,143,365	16.7
下水道事業	8,172,359	5.9
交通事業	2,686,648	14.2
総合病院事業	13,128,157	0.7
小計	35,130,529	2.1
合計	207,153,119	0.3